

「研究紀要」発刊に寄せて

山梨県総合教育センター
所長 天野 信一

令和6年度山梨県総合教育センター「研究紀要」が発刊されました。

学校現場では、「主体的・対話的で深い学び」を実現するために、授業観の転換、教師の役割の変化、学習環境の整備、評価方法の見直しなど、多くの課題に直面しています。また、不登校や特別な配慮や支援を必要とする児童生徒への対応についても、個々の教育的ニーズを把握し、適切な教育の提供が求められています。

今年度、本センターでは「新しい時代の学校教育の実現に向けた総合的な支援の充実～求められる資質・能力の育成に向けた実践的指導、校内研究の在り方～」を研究テーマに掲げ、学校現場が抱える様々な教育課題を解決するために、各研究推進校が行っている校内研究を本センターが支援し、協同で研究を進めてきました。具体的には、「授業づくり・学校づくり」「情報教育」「相談支援センター」の3つの研究領域において、研究推進校5校の協力のもと、8つの研究を進めてきました。各研究内容の詳細については、各頁を御覧いただきたいと思っております。

また、今年度は教職員支援機構（NITS）の「新たな教職員の学び」協働開発推進事業により、他県の教育機関や先進校の視察を重ねてきました。後述の一覧を御参照いただき、興味ある内容がございましたら、本センターまでお気軽にお問い合わせください。

本センターは、「学校教育を支援する確かな情報発信源としての総合教育センター」を基本方針とし、教職員の資質能力の向上、学校教育における課題解決に向け、関係機関と綿密な連携を図りながら、研修、研究、相談、開発及び普及啓発に関わる業務を推進しています。

この研究紀要が先生方の日々の活動の一助となり、また研究推進校とセンターとの協同研究の成果が、県内の多くの先生方に共有され、各学校の教育がさらに充実することを願っています。

結びに、多忙な業務の中で校内研究を推進し、御協力いただいた研究推進校の皆様、専門的立場から御指導いただいた山梨大学の先生方をはじめ関係機関の皆様に改めて御礼申し上げ、発刊にあたっての御挨拶といたします。